

[演習用資料] 単元計画の作成について(その1)

★『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料の第3編：単元ごとの学習評価の事例の中から1つを選び、まずはしっかり読み込みます。

その後、①～③の手順で事例をもとにした単元計画を作成し、指導と評価の設定の演習を行います。

※ここでは、小学校外国語・外国語活動の「参考資料」の事例1を使って手順を例示しています。

① 事例にある【単元の目標】を記載します。教科によっては、3つの資質・能力ごとに目標が立てられているものもあります。

③ 事例の「単元の指導と評価の計画」を見ながら、【主な評価とその場面の例】を記載します。
※記録に残す評価を記載します。

小学校外国語科単元計画(例)【第5学年】

【単元の目標】		主な評価とその場面の例								
自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、相手の誕生日や好きなもの、欲しいものなど、具体的な情報を聞き取ったり、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて伝え合ったりできる。また、アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
【本時の目標】		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">※本単元における「書くこと」については、目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;">「聞くこと」：指導者の誕生日や好きなもの、欲しいものを聞き取っている。＜行動観察・ワークシート記述分析＞</td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;">「聞くこと」：相手のことをよく知るために、誕生日などについて短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取っている。＜行動観察・テキスト記述分析＞</td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;">「聞くこと」：相手のことをよく知るために、誕生日などについて短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取るようにしている。＜行動観察・テキスト記述分析＞</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">「話すこと[やり取り]」：誕生日や好きなもの、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。＜行動観察＞</td> <td style="vertical-align: top;">「話すこと[やり取り]」：自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。＜行動観察＞</td> <td style="vertical-align: top;">「話すこと[やり取り]」：自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。＜行動観察＞</td> </tr> </table>			「聞くこと」：指導者の誕生日や好きなもの、欲しいものを聞き取っている。＜行動観察・ワークシート記述分析＞	「聞くこと」：相手のことをよく知るために、誕生日などについて短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取っている。＜行動観察・テキスト記述分析＞	「聞くこと」：相手のことをよく知るために、誕生日などについて短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取るようにしている。＜行動観察・テキスト記述分析＞	「話すこと[やり取り]」：誕生日や好きなもの、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。＜行動観察＞	「話すこと[やり取り]」：自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。＜行動観察＞	「話すこと[やり取り]」：自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。＜行動観察＞
「聞くこと」：指導者の誕生日や好きなもの、欲しいものを聞き取っている。＜行動観察・ワークシート記述分析＞	「聞くこと」：相手のことをよく知るために、誕生日などについて短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取っている。＜行動観察・テキスト記述分析＞				「聞くこと」：相手のことをよく知るために、誕生日などについて短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取るようにしている。＜行動観察・テキスト記述分析＞					
「話すこと[やり取り]」：誕生日や好きなもの、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。＜行動観察＞	「話すこと[やり取り]」：自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。＜行動観察＞				「話すこと[やり取り]」：自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。＜行動観察＞					
1時	月の言い方を知る。また、アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。									
2時	月名を聞いたり言ったりすることができるとともに、日付の言い方を知る。また、アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。									
3時	誕生日や好きなものを聞き取ることができる。また、アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。									
4時	誕生日や好きなもの、欲しいものを聞き取ったり、それらについて尋ねたり答えたりして伝えたりすることができる。また、アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。									
5時	相手のことをよく知るために、誕生日などについて短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取ったり、誕生日や好きなもの、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。また、活字体の大文字を書くことができる。									
6時	自分のことをよく知ってもらったり相手のことを知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。また、アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。									
7時	自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合おうとする。									

② 「単元の指導と評価の計画」を見ながら、単元の時間とその時間の目標を記載します。

小学校社会科の例のように、単元を貫く課題や、学習展開、学習活動を記載することもできます。

枠は各自が選択した事例に合わせて柔軟に加工してください。

[演習用資料] 単元計画の作成について(その2)

★「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」の第3編：単元ごとの学習評価の事例の中から1つを選び、まずはしっかり読み込みます。

その後、①～③の手順で事例をもとにした単元計画を作成し、指導と評価の設定の演習を行います。

※ここでは、動画で紹介された小学校社会科の単元例を使って手順を例示しています。

① 事例にある【単元の目標】を記載します。教科によっては、3つの資質・能力ごとに目標が立てられているものもあります。

③ 事例の「単元の指導と評価の計画」を見ながら、【主な評価とその場面の例】を記載します。
※記録に残す評価を記載します。

② 「単元の指導と評価の計画」を見ながら、単元の時間とその時間の目標を記載します。

小学校社会科の例のように、単元を貫く課題や、学習展開、学習活動を記載することもできます。

枠は各自が選択した事例に合わせて柔軟に加工してください。

単元の指導計画 例) 小学校第3学年 社会 「店ではたらく人びとの仕事」(1週間)			主な評価とその場面の例		
【単元の目標】			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1) 販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解できるようにするとともに、調査活動等を通して、情報を適切に調べとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現する力を養う。 (3) 販売の仕事の工夫について、主体的に学習問題を解決しようとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会の一員としての自覚を養う。					
1時	動機付け 学習課題を設定する	スーパーマーケットに行った経験や売り場の写真をもとに、考えられる工夫を予想する。 スーパーマーケットでは、お客に喜んでもらったり、たくさん買ってもらうために、どのような工夫をしているのかな。		消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、問いを見出し、販売に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。	地域に見られる販売の仕事について、予想や学習計画を立て、学習課題を追究し、解決しようとしている。
2時	方向付け 課題解決の見通しをもつ	課題解決のために見学の計画を立てるとともに、班ごとに調べるポイントや具体的な調査方法をまとめる。			
3～5時	情報収集 予想や仮説の検証に向けて調べる	見学で、店内の様子を調べたり、働いている人にインタビューをしたりして工夫を調査し、工夫発見カードにまとめる。	消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどについて見学・調査したり地図などで調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、販売に携わっている人々の仕事の様子を理解している。		
6時	考察・構想 社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察する	見学で得た情報を整理し、販売する側の仕事の工夫と消費者の願いの関連を考える。			
7時	まとめ 考察・構想したことをまとめる	販売する側の仕事の工夫と消費者の願いを関連付けて販売の仕事に見られる工夫をまとめる。	調べたことを図表や文などにまとめ、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解している。	販売する側の仕事の工夫と消費者の願いを関連付けて販売の仕事に見られる工夫を考えたり、学習したことを基に消費者としてできることを選択・判断したりして、適切に表現している。	
8時	振り返り 学習したことを振り返って考察する	学習を振り返り、見付けた工夫にびったりなキャッチコピーをつくって、班や学級で紹介し合い、生活に生かせることを話し合う。			学習したことを基に消費者としてできることを考えようとしている。